

学生ボランティアによるワークショップを開催

30日、杉並区地域の安全安心を守るための学生ボランティアによる初のワークショップを開催し、振り込め詐欺根絶について活発な意見交換を行いました。

学生ボランティアの名称は、「V S S チームなみすけ」(Volunteers of Six university and a junior college in Suginami)です。平成25年10月に発足して以来、「杉並区と区内高等教育機関との連携に関する包括協定書」(平成23年12月2日締結)を結んでいる区内6大学(東京立正短期大学、女子美術大学・短期大学、高千穂大学、明治大学、立教女学院短期大学、東京女子大学)の学生が登録し、区や警察と協力して、区内の安全・安心を守る活動に取り組んできました。

30日午後2時30分、今年度新たに登録された学生23名のうち、悪天候にも関わらず参加した7名に向けた認定証交付式を行い、その後、ワークショップは始まりました。ワークショップは、若者ならではの発想を区の防犯対策に反映するもので、学生ボランティアのほか、杉並区防犯活動普及員、区内3警察署など関係者も参加し、和やかな雰囲気の中で、活発な意見交換が行われました。

今回のテーマは、振り込め詐欺根絶です。被害を無くすためには何をしたら良いのか、どういう対策が考えられるかなど、さまざまなアイデアが出され、若者らしい活発な議論となりました。意見の中には、家族に振り込め詐欺の犯人を装って、電話をして騙されないか確認するという奇抜なアイデアも出ました。犯人を装うにしても装わないにしても、家族のコミュニケーションが大事という結論になりました。



ワークショップ終了後の参加者からは、今後のボランティア活動も積極的に参加したい。警察と区役所が行っている防犯対策を知り、とても勉強になった。次回のテーマはSNSが良いなど、前向きな感想や意見が多く聞かれました。区は今後も落書き消去活動や区境パトロールなどに学生ボランティアの参加を呼び掛けるとともに、同様のワークショップを開催していく予定です。

【報道機関 問い合わせ先】

危機管理室地域安全担当課 03-3312-2111 内線1582